

目次

- 1面 会長あいさつ
- 2～3面 県外視察研修
- 4面 地区懇談会
- 5面 ユーカリフェスタ&白井ふるさと祭り、エコキャップ回収報告
- 6面 新入会員紹介、愛 LOVE ファミリー



発行者
佐倉商工会議所女性会
会長 井野口 綾子
A.D. 佐倉市表町 3-3-10
商工会議所内
TEL. 043 (486) 2331
FAX. 043 (486) 5963



大切な中和剤「笑顔」を輝かせ

(株)井野口建材 佐倉商工会議所 女性会 会長 井野口綾子

不動の絆

学びを生活に生かして

富士山の雪化粧も美しさを増し、街にはジングルベルの鈴の音が響きます。やり残した宿題に追われるような忙しい日々ですが、会員の皆様には、精力的にご活躍のことと、お喜び申し上げます。

今年も女性会活動に変わらぬご支援とご協力をいただきましたこと、とても有難く、心より感謝申し上げます。

一年を振り返りますと、内外共に非常に変動の大きな年でしたが、会活動を通じて感じた女性会の絆は不動でした。

青年部との交流会をスタート

に、三月には関東商工会議所女性会連合会主催による、「林真理子」氏の講演会に当会からも

多数のご参加をいただきました。

時代の流れを読み、新しいものを発信する作家としてのご

努力の姿勢は、私達経営者にも通じるものであり、とても共感

できました。

また、関東各地より参集された他女性会の方々と、女性パ

ワーの呼応ができたのも素晴らしいことでした。

第一回の県外研修「キリン横浜、ビアビレッジ」の工場見学では、ビールの歴史を学び、厳選

された材料をもとに、清潔な工場から仕上がる製品に信頼感を持

ちました。また、徹底したエコへの取り組みには学ぶことが

多く、私達のエコ活動の励みとなりました。

そして私達女性会の柱でもある地区懇談会は「心と身体の健

康」をテーマに、地域で活躍されている方々を講師にお迎えし

て開催されました。

佐倉地区は、鐺木にお住まいの山崎重和先生より、「太極拳」

のご指導をいただきました。理に合った、ゆったりとした動き

は、身体の中が整えられているよう

で心地良く、それにも増して、山崎先生の鍛え抜かれた技

の美しさと、内から発せられる

気迫と崇高な精神力に感銘を受けました。

白井・志津地区では、懐かしい童謡や唱歌を歌って心をリフレッシュし、ゆとりの時間を楽しんで

いただきました。合同懇談会を試みました。

ご指導は、やはり地元にお住まいの横山愛子、岩瀬明子両先生

でした。歌うことだけではなく、その曲の時代背景や誕生秘話等、とても丁寧に教えて下さり深い余韻のある貴重な時間となりました。

修に参加された皆様が内容を更に膨らませて、ご自分流にアレンジし、生活に生かしておられることが、「さろん」へのご投稿からも窺われ、感動しております。

暗黙の実践“中和”

今年最後の県外研修は「資生堂鎌倉工場」でした。化粧品のづくりで最も難しい技術は“水”と“油”を中和させることだと伺い心に響くものがありました。中和とは、異なった物質が融合すること、物が偏らず程良くなること、これは正に私達が暗黙のうちに心掛け実践していることではないでしょうか。心身共にゆとりを失いがちな世の中にあつて、自身の様々な思いを平らに中和して、お客様を心からの笑顔で迎えることが私達の気概であり誇りでもあります。これからも凛と胸を張り、思いやりと優しさで、人と人をつなぐ大切な中和剤“笑顔”を輝かせていきたいですね。

迎える二〇一〇年が、皆様にとって更に素晴らしい年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

外視察研修



キリンビアビレッジ & 横浜散策

「ハイカラ横浜を満喫」

三浦保険事務所 三浦悦子

七月十七日(金)、朝、雨がぼつぼつと降ったり止んだり。日中の天気心配でしたが、傘も使わず、日焼けの心配もなく、私達熟女が視察会を開催するに最高の一日。

最初の見学先、「キリン横浜ビアビレッジ」では、数種類のビールが出来るまでの工程をガイドさんの説明を聞きながらじっくりと見学。オートメーション化された工場内に働く従業員の少なさにビックリ。行程見学を終えると、出来立てビールの試飲。「やっぱり、出来たては違う!」を実感。美味しい、うれしい!

横浜中華街での昼食を終え、横浜開港百五十周年記念イベント会場へ。会場がテーマ別にわかれていたの、それぞれが思い思いの見学場所に向った。

私達のグループは、まずトウモロコシパーク脇の観覧車に乗り込んだ。段々高くなり、会場全体の景観を見渡せた。下を回遊しているジェットコースターを話題に、自分達も乗っているかのように車内は楽しく盛り上がり

る。観覧車から見下ろす横浜の街。やっぱり絵になる! 素敵! 話題の「ラ・マシンの」迫力ある動きに感動。ワールドマーケットを覗いて異国へ思いを馳せ・・・そして赤レンガ倉庫で休憩していると、皆さんが戻り始めた。

ベロタクシー(カラフルな三輪自転車)に乗って象の鼻会場まで行かれた方、横浜港の遊覧船でベイサイドエリアを見学した方、赤レンガ倉庫内の洒落たお店でショッピングを楽しんだ方。それぞれ盛沢山にハイカラ横浜を満喫。

今回、入会して初参加でしたが、皆さんが和やかで、本当に楽しく有意義な一日を過ごさせていただきました。これからもぜひ参加したいと思います。宜しくお願いします。



故郷台湾に思いを・・・

印南興業(株) 林宜慧

私は台湾出身で、日本に来て十年になります。ある時、女性会へ入会のお誘いをいただきました。私にとつては、「勉強の場に最適」と思い、入会させていただきました。

今回の県外研修は、お知らせをいただいた時から楽しみにしていました。まずは期待していたビール工場見学です。お行儀良くコンベアに乗ったビールが駆け足で急ぐ様。私的にとても驚きです。ビールの材料である麦やホップ等の植物も展示されていて、手で触れる事もできました。同じ材料で数種類のビールが出来ること、不思議です。清潔で効率良く、製造工程をこんなにオープンに見学できる。おつまみ付で試飲もできる。台湾では考えられないことです。これからビールをいた

だく時は工場で大切に作られたビールを思い出し、説明してくれた担当者から教えていただいたユニークな注ぎ方で美味しく飲みます。

次の見学は横浜開国博です。三輪自転車タクシーに乗って、一回り横浜の風香る町並みを満喫。何ともいえない心地良さ。仕上げはデジタル時計が特徴の観覧車に乗りました。横浜港、赤レンガ倉庫、巨大スベクタクルアートのラ・マシンの蜘蛛、海がきれい、遠くの山並みも一望でき、地図の上を泳ぐ魔法のジュータンさながら。総まとめにふさわしい景観です。水平線のはるか先の台湾を思いつつ日本に来て良かった。女性会に入会して良かった。

これからも女性会のお仲間と一緒に学びたい、歩みたいと思っています。



資生堂 & 水族館

「社員さんも美しく！」 (有)ウエダ塗装店 上田節子

十一月十七日、朝からあいにくの雨でしたが、県外視察研修で(株)資生堂鎌倉工場と新江ノ島水族館に向けて出発しました。

まず資生堂鎌倉工場に着。お迎えをいただいた社員さんのスタイルや顔も・・・!さすが「資生堂」



美しく洗練されています。

二階の会議室で、会社概要などのビデオを見て工場内入室の準備をしました。頭から靴まですっぽりと白衣で覆い、中に入る時に消毒液で手を、エアージャワーで全身を消毒し雑菌が入らないようにチェックを重ねてから見学コースに入場しました。第一工場棟は化粧品・乳液、第二工場棟はクリーム類、第三工場棟はチューブ製品・口紅等が製造されておりました。口紅の生産は一日七万本を誇り、国内で生産する口紅の全てをこちらで生産しているそ

うです。鎌倉工場は多品種少量体制で三千四百種類の化粧品があるそうで、最終チェックはすべて人の手で行われるので従業員千百名と多いそうです。またゼロエミッションを達成し、産業廃棄物はゼロとなりすべりサイクル、再利用されているそうです。



「乳化の実験中」

その一環としての、ゴミ分別は三十八種類に分け、工場内の汚物はバクテリアで自動分解し、きれいになった水は下水に、残ったカスは粉末にして肥料に利用されているそうです。

なりました。水と油は分離するが、乳化剤を加えることで混ぜり合いクリームができる理論を学びました。配合や材料により、さっぱりしているマヨネーズタイプとしっかりとっているバタータイプの乳液ができることを確認し、できあがったものを手に塗りながら納得した。「一瞬も、一生も、美しく」「お客様様の喜びを motto に」の想いで商品企画、研究、生産と努力されており、商



再度会議室に戻り、研究室で日々研究開発に取り組んでおられる社員の方々と実験の時間と

品がまた身近に感じてファンの一人となりました。次に新江ノ島水族館に到着。たくさんのお魚たちの中でひとだかりができていたのは電気ウナギの前。クリスマスツリーのライトがウナギの発する電気で点灯する仕掛けが施されておりました。そのほかに色鮮やかなサング礁や白く透きとった肌で可愛らしく泳ぐクラゲを微笑ましく観察。逆さクラゲ・タコクラゲなどを観ていると、しばし

時間を忘れてしまう。何十年ぶりに訪れた水族館に懐かしさを感じた。

最後に井野口会長より年内の行事は終わりですが、今後も会員さんの声を聞き、手作りの会として楽しく、仲良く続けていきたいと挨拶されました。一日雨でしたが、心は満足感でいっぱいだった。



体の内側から美しく、健康に

(有)カスタムハウス鈴木 鈴木和枝

九月八日(火)、十九時から商工会館三階会議室に於いて佐倉地区懇談会が開催されました。講師は、市内鐺木町にお住まいの山崎重和先生です。最近、ゆっくりとした運動が見直されている、そんな話から私が習っている太極拳を行うことになりました。

当日は、大勢の方に参加していただきました。講演を聞いたのち、太極拳二十四式を先生に通じて演じていただきました。流れる様な動きに奥の深さを感じ

じ、見とれてしまいました。太極拳は呼吸法に則って内面の気を養い、健康を保持することが主な目的だそうです。先生も二十年ほど前に大病されたのがきっかけで太極拳を始められたそうです。「激しい運動をしても内臓は動きません。太極拳は、ゆっくりとした運動ですが、ゆっくりとした運動ですが、脾臓、肝臓、腎臓は激しく動いています。」という先生の言葉に「そうなのか!」と感心し通してしました。



その後、全員で立禅(心の準備)、よう手(体の準備)を、先生の実技を見習いながら体を動かしました。普段は使っていない箇所(部)が伸び、心地良さを実感・体感できました。

今年も良い体験をさせていただきました。心も体も健康で、年を重ねていきたいと思いました。

佐倉地区

地区懇談会

白井・志津地区

次代に素晴らしさを伝えたい

(株)ジイシイ企画 金子恭子

平成十二年から童謡・唱歌を歌う会等で指導されている横山愛子・岩瀬明子両先生をお迎えし九月十七日(木)十九時三十分より佐倉市白井田西地域防災集会所で白井・志津地区合同懇談会が開催された。

歌は、聴く者の心に優しく、やわらかに響き、心を和ませられる。先生は現代の私達が忘れてかけている言葉を大切にしておられ、母音の強い美しい日本語が心地よく耳に届く。

大きな声で童謡・唱歌を歌って、日頃のストレスを解消し、リフレッシュすることが目的の会だった。まず、先生が歌詞の朗読を交えて、作詞家・作曲家が曲を作った時の時代背景や、歌に込められた想い、背景について解説して下さった。

『夕焼けこやけ』おわれてみたのは?』の『おわれる』は、追われる? 背負われる?』と、言われてみれば、「??」等々、何とも興味深く、お話に引き込まれる。幼児・学童・思春期と、その折々に聞き歌った童謡・唱歌は、自分史に繋がり、当時のことが鮮明に思い出される。

作家で童謡歌謡研究家の合田道人氏がある会で、「童謡には歴史がうごめいていて、不思議が散乱している」と話しておられたのを思い出した。童謡・唱



研修懇談会の二時間は、美しい日本語と優しいメロディに包まれ、日頃あまり出さず事のない大きな声で歌ううちにあつという間に過ぎていった。

最後に、お二人の先生、この会を企画したスタッフの方々に

感謝を込め、「今日の日はさようなら」を全員で歌って、会は終了。

古人から伝わるように「大和の国は言霊の幸(さきは)う

第十四回「ユーカリフェスタ2009」が、十月二十四日(前夜祭)、二十五日(本祭)と二日間に渡り開催されました。

心配された天候も、本祭当日には回復し例年どおりの盛況ぶりで、会場は来場者でいっぱいになりました。

フェスタは、「ファッシュンショー」「フェイスペイント」「ゲームコーナー」をはじめ、「演武」や「演奏」などイベント内容が盛りだくさんで、大変な賑わいを見せておりました。中でも「ハロウィンパレード」と「仮装コンテスト」はひとときわ盛況でした。参加された方々の楽しんでいる様子から、観客の私たちにも、その熱気が伝わってまいりました。

「女性会」のメンバーも各セクションで皆様のお手伝いになり、フェスタを支える陰の力として活躍しておりました。



ユーカリフェスタ



白井ふるさと祭り

国ぞ」と、つくづく思う。外国語や造語を駆使するのも素敵だが、母音、二重母音が美しく響く日本語、その言葉ひとつひとつに含まれる意味を正しく理解

し、話せるように努力しなければ、次代にその素晴らしさを伝える事が出来ないと考えた。そして、何気なく使っている言葉にも、人の心に大きく作用する

地域の人々に愛されてきた「白井ふるさと祭り」は今年も大盛況の賑わいをみせました。今回で十四回目を迎えるこのお祭りは、佐倉市、八街市、酒々井町消防組合の音楽隊をはじめ、地区内中学校吹奏部や佐倉勇翔太鼓の演奏など地域の方々によるご協力で、地元根付いた、そして愛されるお祭りとして今日に至っております。

祭り終盤、日没より始まる大行列の踊り大会は、町内を数百人の人々で練り歩く、活気に溢れたプログラムのひとつで、誰もが気軽に参加できる楽しい行事となっているようです。

また、行列が出来るほど人気のプログラムのひとつに、女性会のブース「フェイスペイント」がありました。担当の女性会メンバーさんは一人で何

力があることを改めて感じた。感謝。

十人もこなすハードスケジュールだったにもかかわらず「喜んでもらえるのでやりがいがあります」と意欲的に取り組んでおりました。

第2回 エコキャップ回収報告

「SALON 28号」におきましてエコキャップ回収事業につきまして、ご紹介とご協力依頼をさせていただきましたところ、今回は87,600個のペットボトルキャップを回収させていただき、累計でポリオワクチン211.0人分を提供させていただくことができました。

ご協力をいただきましたみなさま、本当にありがとうございました。累計のCO₂削減効果は、778.05kgとなりました(1kgがキャップ400個として計算され、焼却すると3.15kgのCO₂が発生します)。CO₂削減に協力しているのです。

これからも引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

地域振興事業部：佐藤辰江・三橋君子・三橋まさ子

【お願い】 回収させていただいたキャップに飲料水(ジュース、お茶等) ペットボトル以外のキャップが混在していることがございます。お手数ですが事前に選別をしていただきますよう、お願い申し上げます。





(有)板倉自動車

板倉かの子

車の板金塗装業を始めたのは長男が生まれた年。早いもので、三十七年が過ぎました。主人は長男、私も長女で二人ともお人好し、商売をするなんて思いませんでした。

現在、働き者で丈夫な主人は毎日車検で走り回り、板金工場は長男が主になり、事務関係は次女、私とお嫁さんは雑用係です。

子供達が手伝ってくれる様になつてから、やっと自分の好きな事が少しずつ出来るようになって、今は大好きなガーデニングと家庭菜園を楽しんでいます。

子供は、一男二女に恵まれ幼児期は保育園のお陰で本当に助かりました。仕事に夢中になり、お迎えを忘れてしまったことも度々ありました。今思うと、先生ゴメンナサイ。

子供達が手伝ってくれる様になつてから、やっと自分の好きな事が少しずつ出来るようになって、今は大好きなガーデニングと家庭菜園を楽しんでいます。昨年長女が嫁ぎましたので、

今は九人家族です。若い人達とは、お風呂と台所は別々ですが、玄関は一つ(これが私達にとっては良かったみたい)。毎朝、孫の顔を見に二階へ上がります。私の宝物の孫三人、この子達の顔を見ると、嫌な事や悲しい事も吹っ飛んでしまいます。今は最高に幸せです。いつの間にか年を重ね、主人も私も還暦を過ぎていました。定年もありませんが、これから

は二人で共通の楽しみを見つけていきたいと思っています。もちろん、仕事熱心な主人は、お車でお困りの時は時間を問わず、いつでもどこへでもお伺い願います。



ひとりごと

最近、仕事の引継ぎをする時期に突入した。四十数年間、仕事一筋に人生を歩んできた。引継ぎとは嬉しくもあり、どこか寂しさを感じる複雑な心境である。そんな折、以前から「時間があれば勉強しよう」と考えていたこともあり、現在六十二歳の大学三年生である。大学生活を送ってみると、自分を外から眺める事が出来るようになった。なので、今までは自分がやらねば、と思いついていかねばけれど、少しずつ引いていかねばならないということを改めて思った。

新入会員紹介

(氏名50音順)

- ①氏名 ②事業所名(業種) ③所在地
- ④電話番号 ⑤ひと言

① 一木敏子



- ② オフィス・ワン(総合保険代理店)
- ③ 佐倉市山王 2-50-10
- ④ 043-485-3678
- ⑤ 仕事の合間に趣味の日舞サークルを開いております。健康舞踊をしております。肝心の仕事は保険の総合代理店を主人とやっております。

① 伊藤佐緒里



- ② S T企画(印刷・宣伝企画)
- ③ 佐倉市上座 786-3
- ④ 043-462-6761
- ⑤ 印刷・看板など宣伝や情報提供を形にしています。よろしくお願ひします。

① 今井一代



- ② smile kitchen(料理教室)
- ③ 佐倉市王子台 5-25-8
- ④ 043-235-8162
- ⑤ 地域活性化に繋がる活動がしていければと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

① 田中ヒロ



- ② (株)田中薬店(薬店)
- ③ 佐倉市上志津 1667
- ④ 043-462-3700
- ⑤ オーケーストア志津店2階で医薬品販売・処方調剤を取り扱っております。よろしくお願ひいたします。

私が四十歳代の頃、七十歳代のご婦人とお会いした時、「今までの人生を振り返り、何歳代が過ごしやすいですか?」と質問をしたことがあり、「子供達から手が離れ、身体も身軽に動けた六十歳代が良かった。貴方も、六十歳代を健康で過ごせるように、今から大事にしなさい」と言われた事を思い出した。六十歳代になってみて、少し理解できた。後年人生を振り返った時、良かったと思えるように、年を重ねていけたらいいな。六十歳に乾杯。(野ぶどう)